

まつり
のべおか
1万発花火に歓声

最後は3分間に3千発

花火まつりのべおか一市で行われた。昨年より花火を多くの市民が楽し、大瀬川沿いの大貫町堤防
火大会が28日、延岡一6千発も多い、1万発のんだ。台風12号の影響か、一は風があつて涼しく、花



火も煙に隠れることもな
かった。堤防付近からは、
打ち上げられるたびに歓
声が上がった。

辺りが暗くなった午後
8時から大貫町の対岸、
古城側の河川敷から打
ち上げ。最初は音楽とラ
イトがシンクロした
「ミュージックスターマ
イン」で始まった。花火
の中には、ハート形、猫
やスマイル・ニコちゃん
マークといったユニーク
な花火も打ち上げられ、
観客を喜ばせた。

中盤は、NHK大河ド
ラマ「西郷どん」の音楽
に合わせて、島津家紋
の丸に十字型の花火、県
内初となる江戸時代の赤
い花火「和火」も打ち上
げられた。

最後の3分間は全員の
カウントダウンで残りの
3千発を打ち上げ。
切れ目なく打ち上げら
れる花火に「うわー」「す
ごい」の歓声が上がって
.....
1万発の花火が延岡の夜
空を彩った花火大会

いた。
会場は花火が始まる前
から家族連れ、浴衣姿の
カップルなどが続々と集
まり、堤防に並んだかき
氷やイカ焼きなどの出店
には列ができ、河川敷で

はシートを広げて花火が
始まるのを待った。
花火が始まると、スマ
ートフォンやタブレット
PCなどで撮影する人も
いたり、花火の迫力に引
き込まれて夜空の花火に

見入る人などさま
ざまのフィナーレ
だったね「すご
い」と笑顔で話し
ながら就いていた

東京で延岡紹介うちわ配布

7/30 延岡中2年生が修学旅行でPR

延岡中学校(神崎勝久校長)2年生は地元の魅力を紹介するうちわを制作し、6月の修学旅行中に東京・巣鴨の東北の物産センター「座・ガモ」ショップ「座・ガモ」前配



巣鴨でうちわを配ってPR (提供写真)

り、延岡を東京や外国人にPRした。
2年生は、1年時に総合的な学習の時間を活用して、6月の修学旅行でPR活動を行った。班に分かれ「自然体験」

「食」神話・歴史・ミス・ボーツ・イベント」のテーマで調べ、文化発表会などで発表した。その後、希望者や学級委員など21人がうちわ制作や修学旅行でPR

Rする班として活動。昼休みにパソコンを使ったレイアウト作成などに取り組んだ。

このうち「神話・歴史」のうちわは、和田越決戦があった西南の役、城山で行われる天下ノ薪能、二ニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出会った場所といわれる愛宕山などを紹介。活動班の実行委



うちわを制作して修学旅行で配った延岡中2年生

修学旅行では法被姿で英語版を含むうちわ500枚を配布。最初は緊張や恥ずかしさからなかなか渡せなかったが、次第に積極的に手渡せるようになった。

山本さんは「全部配ることができて良かったです。達成感がありました。これからもふるさとの良さを県外の人にアピールしたい」と話した。

委員長を務めた山本彩さんは「まとめるのが大変だったけれど、延岡の良さが伝わるように凝縮しました」と話す。

受け取った人の中には「あなたたちが作ったの。すごいね」と声を掛ける人もいたという。

タウン

2018.7.30

世界農業遺産 共に学ぶ



GIAHSスタディーツアーで、山腹用水路の歴史について学ぶ学生ら

GIAHSスタディーツアーは、昨年度から始まった高千穂高校生向けの「GIAHSアカデミー」の一環として、世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会（会長・内倉信吾高千穂町長）がNPO法人「グローバルアカデミー（高千穂町）」に運営を委託して実施。同校や五ヶ瀬中等教育学校（五ヶ瀬町）、

世界農業遺産（GIAHS）について学んでもらおうと、県内の高校生と海外の大学で学ぶ日本人学生らを対象にした2泊3日の「GIAHSスタディーツアー2018」がこのほど、椎葉村と五ヶ瀬町、高千穂町であり、フィールドワークなどを通してシアスに認定されている「高千穂郷・椎葉山地域」の魅力、可能性を探った。

飯野高（えびの市）の県内3高校ほか、NPO法人「グローバルな学びのコミュニティ・留学フェローシップ」（神戸市）を通じて招聘（しょうへい）したハーバード大、イェール大、ワシントン大、ウェズリアン大、ニューヨーク州立大（いずれも米国）、マギル大（カナダ）などで学ぶ日本人学生、京都大の学生

合わせて22人が参加した。初日は椎葉村を訪れ、シアス認定をきっかけに伝統的な農法の焼き畑を復活させた夜狩内集落などを視察。2日目は五ヶ瀬町で釜炒（い）り茶の手摘みや手炒りなどを体験した後、高千穂町に移動し、傾斜地に広がる棚田や、そこに水を供給するために開削された山腹用水路を見学した。また、国指定重要無形民俗文化財として町内で伝承されている「高千穂の夜神楽」を鑑賞したり、かつほ鶏

盛な好奇心と、学ぼうとする熱意を感じた。そういう大学生と一緒に学ぶことで、より深く地域のことを知ることができたと話していた。

7/30

県内高校生と海外の日本人学生

椎葉村、五ヶ瀬・高千穂町

2泊3日で魅力探る